

株主のみなさまへ

BUSINESS REPORT

特集 この1年の変化と2030へ向けて


証券コード：5162

第51期 株主通信

2020.4.1 ▶ 2021.3.31

第51期 連結財務ハイライト

決算のポイント：新型コロナウイルス感染症拡大による需要の低迷を受け減収減益となったが、2021年は回復傾向となっている。

(単位:百万円)



みなさまへのお知らせ

海外子会社の棚卸資産の過大計上について

ご報告の概要

昨年、海外子会社である中国広東省東莞市の東莞朝日精密橡膠制品有限公司において棚卸資産の過大計上が発見され、当連結決算会計期間の第2四半期決算を訂正することとなり、株主の皆様をはじめ、関係する皆様にご迷惑とご心配をおかけいたしましたことにつきまして、深くお詫び申し上げます。社内外の有識者で構成された調査委員会からの提言を真摯に受け止め、再発防止策の確実な実行により、二度と発生させないことをお約束いたします。

(単位:百万円)

項目	訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)	増減額(%)
売上高	2,849	2,849	—	—
営業利益	▲126	▲179	▲53	—
経常利益	▲75	▲128	▲53	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	54	7	▲47	▲87.0
総資産	10,451	10,403	▲47	▲0.5
純資産	4,358	4,311	▲47	▲1.1

本件の経過説明

2016年9月、「原価管理機能の向上と生産の効率化の実現」を目的に新システムの導入を決定し、試験期間を経て2019年1月から運用を開始しました。しかし新システムに関する理解や部門間の連携不足などにより、製造工程の不良品の出入庫入力が正しく機能せず、棚卸資産の過大計上に至りました。また海外子会社に対する不十分な管理体制も一因となり、当社グループのガバナンス体制に大きな課題があることを認識することとなりました。

再発防止策(内部統制強化含む)

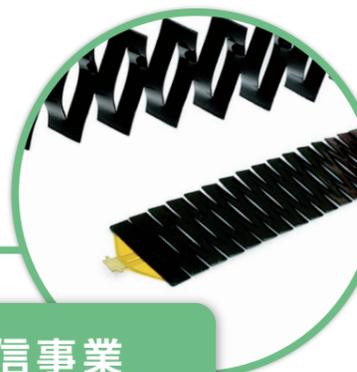
再発防止策として、会計システムの正確な理解や現物管理と数値管理の正確な運用の徹底、責任体制の明確化と連携の強化、管理部門の情報共有の仕組みづくりと連携の強化と問題発生時の迅速な伝達体制の構築を行います。さらに当社による海外子会社の管理体制の強化と情報共有の仕組みづくりを掲げ、現地に内部監査機能を新設して朝日ラバーグループの内部統制の強化を図り、ルールの徹底と順守体制を進めてまいります。

各事業分野のこの1年 の変化と2030へ向けて

新型コロナウイルス感染症拡大の環境下ですが、新製品開発と顧客満足を目指す活動を絶やすことなく続けています。



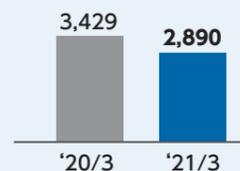
ライトガイドイメージ



伸縮配線

光学事業

売上高の推移 (単位:百万円)



業績は減収。IATF16949認証取得をはじめ、深紫外線LED用光学部材開発や光学設計受託業務を開始するなど、事業の活動力が高まりました。

この一年の取り組み

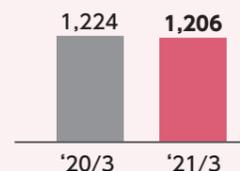
自動車内装照明向けASA COLOR LEDの受注は回復傾向にあります。光学応用製品全般の新規受注と量産化を加速させます。

中期的見通し

色と光を制御する技術と感性技術を磨き、自動車の内装照明市場から外装照明、また特殊照明分野向けに技術開発と提案を進めます。

医療・ライフサイエンス事業

売上高の推移 (単位:百万円)



業績は微減収。採血用・薬液混注用ゴム栓の設備移設を終え生産体制を完備。新たに超親水性処理技術の応用展開が始まりました。

この一年の取り組み

逼迫する医療現場に医療機器向けゴム製品で安心・安全・快適を届けます。さらに自社独自開発製品の採用拡大へ注力します。

中期的見通し

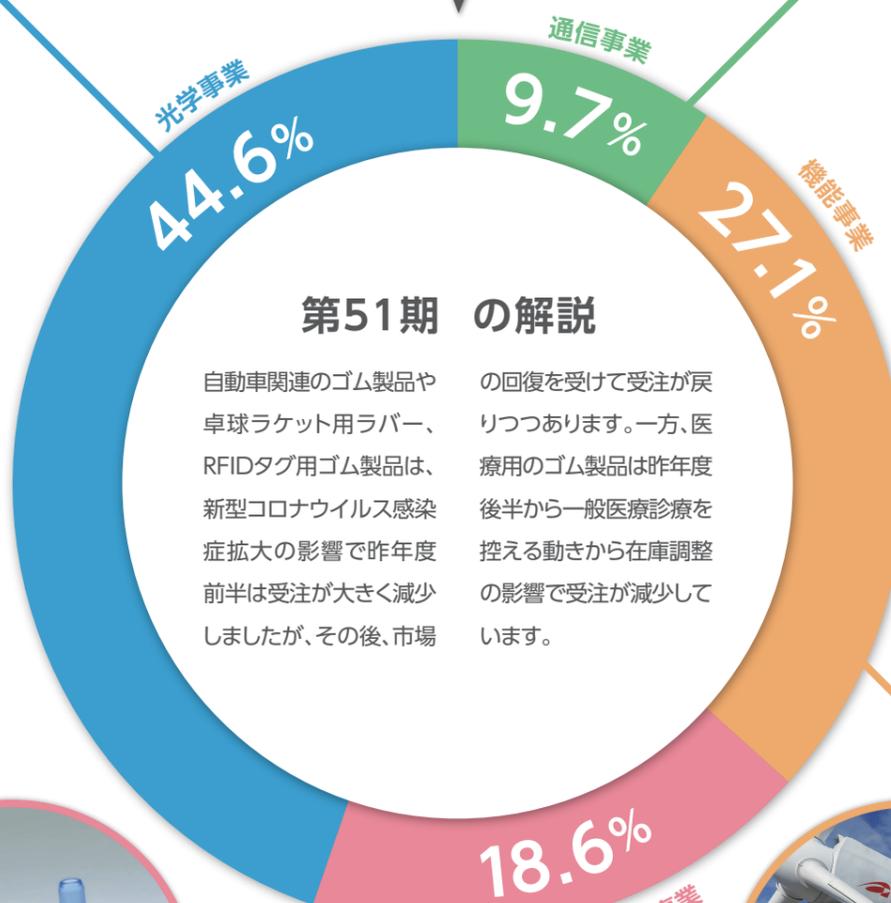
医療従事者が使用する機器や疾病の診断・治療・予防用機器に対する課題解決に取組み、医療現場と患者のQOL*向上につなげます。

*QOL: Quality of Life



ARチェックバルブ

2021年3月期 事業構成比



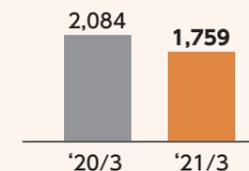
第51期の解説

自動車関連のゴム製品や卓球ラケット用ラバー、RFIDタグ用ゴム製品は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年度前半は受注が大きく減少しましたが、その後、市場

の回復を受けて受注が戻りつつあります。一方、医療用のゴム製品は昨年度後半から一般医療診療を控える動きから在庫調整の影響で受注が減少しています。

機能事業

売上高の推移 (単位:百万円)



業績は減収。自動車向けスイッチ用ゴムは回復傾向、卓球ラケット用ラバーも競技の再開によって徐々に回復し始めました。

この一年の取り組み

事業製品全般にわたり受注は回復傾向にあります。再生エネルギー分野への貢献を目指し、風力発電機向け製品開発を進めます。

中期的見通し

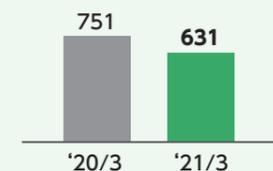
持続可能なエコな社会・電動化へのシフトが加速する中、当社独自開発の機能素材を武器に、安全・安心で快適な製品を提案します。



気流制御電極

通信事業

売上高の推移 (単位:百万円)



業績は減収。RFIDタグ用ゴム製品は新機種を中心に受注回復傾向にあります。最終ユーザーである海外市場動向をみながら対応を進めました。

この一年の取り組み

引き続きお客様と連携しながら新規受注活動を展開します。また他事業製品との融合で通信事業製品の提案力を高めます。

中期的見通し

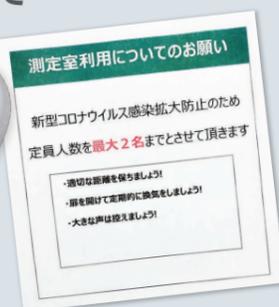
柔らかい感覚を伝えるセンサ、安心して繰り返し曲げられる制御製品など、ライフスタイルが望む多様な要求に対応してまいります。

》 従業員の働く環境の変化 新型コロナウイルス対策について

当社では、職場での新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、従業員に安心して働く場を提供するため、基本的な考え方について、三密の回避、こまめな手洗い、手指の消毒、勤務時における検温、マスクの着用を依頼しています。また従業員全員に紫外線とオゾンで除菌できるケースを配布し、日常生活でのケアをサポートしています。



▲UV除菌ケース



》 従業員の声

朝日ラバーの新型コロナ対策は、毎朝の検温、消毒、三密を避けての休憩を徹底しています。不便なこともありますが、対策を徹底しているので安心して働くことができます。

生産本部 第二福島工場 製造グループ所属 柳沼 花帆さん



対策として、マスクを着用し、毎朝手の消毒や体温の測定、換気等を行っています。また、配られたUV除菌ケースも活用することで細かな部分も気をつけることができ良いと思いました。

生産本部 福島工場 製造グループ所属 木村 優太さん



TOPIC 令和2年度 東北七県電力活用推進委員会 委員長表彰を受賞しました



2021年2月25日、東北七県電力活用推進委員会より、令和2年度 東北七県電力活用推進委員会 委員長表彰を受賞しました。この表彰は、他に率先してエネルギー管理を実践し、エネルギーの使用合理化の成果が著しく、特に電気の有効活用を図った事業者や工場、個人に対して表彰されるもので、工場の屋根に太陽光発電設備を設置したことや、遮熱塗装を施工することで工場内の室温の上昇を抑えるなどの活動が評価されました。

株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 11,500,000株
 発行済株式の総数 4,618,520株
 株主数 3,146名

大株主 (2021年3月31日現在)

株主名	(株) 持株数	(%) ^{*1} 持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	477,500	10.5
佐藤尚美	228,700	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.9
株式会社東邦銀行	207,400	4.5
株式会社武蔵野銀行	196,500	4.3

*1 持株比率は自己株式(53,076株)を控除して計算しております。

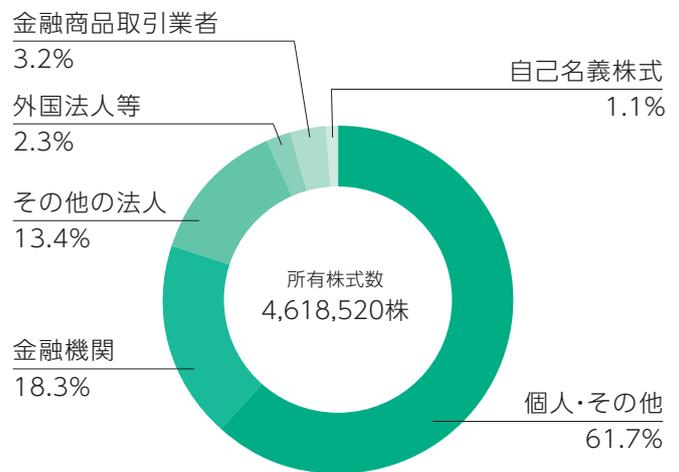
株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月に開催
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
 (郵送先)〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 (JASDAQスタンダード)
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL
<https://www.asahi-rubber.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有者別株式の分布状況 (2021年3月31日現在)



会社概要 (2021年3月31日現在)

商号 株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.)
<https://www.asahi-rubber.co.jp/>
 所在地 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
 設立 1976年6月 (創業1970年5月)
 資本金 5億1,687万円
 証券コード 5162
 正社員数 313名
 主な業務内容 工業用ゴム製品の製造・販売
 主な事業所 本社: 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
 大阪営業所 / 名古屋営業所 / 福島工場 / 第二福島工場 / 白河工場 / 白河第二工場
 役員^{*2}
 取締役会長 横山 林吉
 代表取締役社長 渡邊 陽一郎
 取締役 田崎 益次
 取締役 滝田 充
 取締役(監査等委員) 高木 和久
 取締役(監査等委員)(社外) 馬場 正治
 取締役(監査等委員)(社外) 筑紫 勝磨

*2 2021年6月23日現在